

国の補正予算を こんな事業に使いました

国からの交付金の活用状況

昨年10月と今年1月に成立した国の補正予算で、本町へ1億7,350万9,000円が交付されました。町では、町民の安全・安心、地域活性化などに結びつく事業に活用することとし、20年度と21年度の2年間で実施することにしています。

交付金活用事業の主なものを紹介します。

1. 地域活性化・緊急実現総合対策交付金

(交付金額 1,566万3,000円)

- 施肥低減体系緊急導入補助事業
- 訓子府小学校視聴覚設備更新事業
- 訓子府小学校トイレ改修事業
- 学校給食センター耐震診断事業
- 消防庁舎耐震補強工事実施設計事業

2. 地域活性化・生活対策臨時交付金

(交付金額：1億5,784万6,000円)

- 定住促進空き家活用事業
- 訓子府小学校屋外運動場整備事業
- 居武士小学校通路等整備事業
- 訓子府中学校屋外運動場整備事業
- 救急用資材購入

- 公民館設備更新事業
- プレミアム付商品券発行事業
- 町有・町営住宅屋根塗装事業
- 北訓体育館解体事業
- 東幸町線と若富北1条線の道路改良舗装
- 河川改修整備事業
- 高齢者(災害弱者)緊急通報装置整備事業
- 幼稚園整備事業(電気設備、屋根、屋外遊具)
- 保育園屋外遊具整備事業
- スポーツセンター・温水プール補修

これらの事業は、「定住促進空き家活用事業」を除き、いずれも国や道の補助金などではなく、町の持ち出しで負担しなければならない事業です。財政的に厳しい中、長年先送りされてきた事業で、今回の交付金がなければ事業実施が困難なものが中心となっています。

今年5月29日に21年度の国の補正予算が成立し、経済危機対策が進められますが、本年度も地方対策として町に交付金が交付されることが見込まれています。

町では、この機会を逃すことなく、緊急的なものや近い将来必ず実施しなければならないもの、少子高齢化社会への対応や町民の皆さんのが安心して暮らせる町づくりなど、地域活性化のために活用していくと考えていますのでご理解願います。

農業用廃プラスチック類一斉回収

本年1回目の一斉回収を以下のとおり実施します。下表の受入区分ごとにトラックスケールなどを用いて排出者ごとに排出重量を計測することになります。

そのため、庭先でのトラックへの積み込みの際、受入場所でスムーズに荷降ろしできるように受入区分ごとに分けて順番に積載するなどの注意が必要です。

■ 受入日時 7月8日(水)

受入区分	左の具体例	荷姿	重量測定
①塩化ビニール	「農ビ」マークのあるハウス用ビニールなど	新聞程度の大きさになるよう折りたたみ、重ねて必ずヒモでしばること。1個の重さの目安は20kg程度	トラックスケール
②農ポリ (ポリオレフィン)	POフィルム、農ポリ、マルチポリ、ラップフィルム、肥料袋、洗浄済農葉空容器(ポリに限る)など	フレコンに入れ排出。ただし、フレコン1個の重さの目安は100kg程度(③とは別のフレコンに) 農葉空容器(ポリ)は水で3回以上洗浄したものに限り排出可	トラックスケール
③農葉空容器 (洗浄していない)	農葉・除草剤の空容器(空瓶、空袋、ポリ容器、アルミハク容器)	フレコンに入れ排出(②とは別のフレコンに)	だいばかり 台秤

9時から15時まで(※12時から13時を除く)
朝は混雑が予想されますので、午後からの搬入をお勧めします。

- 受入場所 小麦乾燥貯蔵施設(穂波)
- 受入区分・荷姿など 下表の①、②、③については、処理委託先が異なるため、必ず分別の上、指定された荷姿で排出願います。また、排出するすべての梱包物に「農協名および氏名」を記入した荷札を付けてください。
- その他 受入区分の詳細やその他一斉回収に関するお問い合わせは、JAきたみらい訓子府地区事務所(☎ 47-4824)までお願いします。

くんねっぷへの思いがたくさん寄せられました

平成20年度ふるさとおもいやり寄付金の状況をお知らせします

平成20年4月からふるさとおもいやり寄付事業がスタートしましたが、町内外の多くの皆さんから「ふるさと訓子府への思い」がたくさん寄せられましたのでお知らせします。

寄せられた寄付金は、寄付者の思いを実現するため、まちづくりのために使わせていただくことになります。

平成20年度は、定住促進空き家活用事業(東幸町の町有住宅のリニューアル)に11万円を使わせていただきました。

今後も皆さんの思いを福祉、教育、産業など特色あるまちづくりに役立てていきたいと考えています。

事業別寄付状況

事業の区分	寄付件数	寄付口数	寄付額
1. 安心して暮らせるふるさとづくり事業	24	240	1,200,000
2. 元気な人を育てるふるさとづくり事業	11	94	470,000
3. 豊かな環境と資源を生かしたふるさとづくり事業	8	66	330,000
4. その他、特色あるふるさとづくりに関する事業	8	77	382,000
計	51	477	2,382,000

一人の方が複数の事業に寄付している場合もあり、寄付実人数は32人です

◆ 寄付の方法 ◆

一口5,000円として、寄付の口数と活用してほしい思いを申し出でいただきだけです。直接窓口に来られるか、電話や手紙でご連絡をお願いいたします。

基金の状況(平成20年度中)

区分	当初	積立額	処分(取崩)額	年度末保有額
寄付金	0円	2,382,000円	110,000円	2,272,000円
利子	0円	0円	0円	0円
計	0円	2,382,000円	110,000円	2,272,000円

地域再生プロジェクトが採択されました

元気なまちづくりを推進

町が北海道に提案していた地域再生のためのプロジェクトが、北海道独自の「地域再生チャレンジ交付金事業」として、このほど採択されました。

プロジェクトの内容は、地域の人材、農畜産物、自然、気候風土などの地域資源を生かして地域経済の活性化や人・モノなどの交流を活発化するため、複数のソフト事業で構成されています。

※ソフト事業とは、計画策定や調査試験研究、

団体活動支援などの事業で、建物や道路などをつくる建設事業や機械設備整備など以外の事業です。

- プロジェクト名 人づくり、モノづくり、元気なまちづくりプロジェクト
- 期間 21年度から23年度
- 目標 町への入り込み人口増加、農業生産額などの向上
- 北海道からの交付金 21年度700万円
※3年間で約1,600万円の予定
- 構成事業の内容
 - ①姉妹町交流事業
 - ②元気なまちづくり総合事業
 - ③担い手育成事業
 - ④農産物加工指導事業
 - ⑥地域資源活用事業
 - ⑦まちづくり委員会事業

企画財政課(☎ 47-2115 役場2階窓口12番)